

公立大学法人札幌市立大学  
数理・データサイエンス・AI 教育プログラム 自己点検評価要領

令和8年2月25日 学長決裁

## 1. 目的

本要領は、札幌市立大学において実施する数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（以下「本プログラム」という）の質保証および継続的改善を図るため、自己点検・評価の実施方法および手順を定めることを目的とする。

## 2. 自己点検・評価の実施組織

本プログラムに係る自己点検・評価は、公立大学法人札幌市立大学 教務・学生連絡会議（以下「連絡会議」という）が担当する。連絡会議は、点検計画の策定、データ収集、評価、改善提案の作成を行う。

## 3. 自己点検・評価の対象

自己点検・評価の対象は以下の項目とする。

- ・プログラムの履修・修得状況
- ・全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況
- ・履修者の学修成果および理解度
- ・数理・データサイエンス・AI を学ぶ楽しさ・意義への理解
- ・他の学生への推奨度
- ・教育方法および教材の妥当性
- ・学修環境および支援体制
- ・産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見
- ・教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

## 4. 自己点検・評価の方法

自己点検・評価は、以下により実施する。

- (1) 定量データの収集：履修者数、アンケート結果等
- (2) 定性評価：教員レビュー、学生意見、外部有識者等の意見の反映
- (3) 学内協議：連絡会議における協議による評価の確定

## 5. 自己点検・評価の時期

自己点検・評価は、原則として年度末（3月）に実施し、次年度の教育改善に反映するものとする。必要に応じて中間点検を行うことができる。

#### 6. 結果の取りまとめと公表

連絡会議は、評価結果を「自己点検・評価報告書」として取りまとめ、学長へ報告する。また、必要に応じて適切な範囲で大学ウェブサイト等で公表する。

#### 7. 改善措置

自己点検・評価の結果に基づき、教育内容・体制の改善案を作成する。改善状況については、次年度の点検において検証する。

#### 8. 附則

本要領は制定日より施行する。必要に応じて連絡会議において見直しを行う。